

# 令和4年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



令和4年1月14日

上場会社名 株式会社ブロッコリー

上場取引所 東

コード番号 2706 URL <https://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 善之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-6685-1366

四半期報告書提出予定日 令和4年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和4年2月期第3四半期の業績(令和3年3月1日～令和3年11月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年2月期第3四半期	4,724	7.6	133	△84.0	154	△81.9	59	△89.9
3年2月期第3四半期	4,389	△1.0	832	34.6	855	35.3	590	25.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年2月期第3四半期	6.83	—
3年2月期第3四半期	67.52	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年2月期第3四半期	10,713		9,580			89.4
3年2月期	10,977		9,749			88.8

(参考) 自己資本 4年2月期第3四半期 9,580百万円 3年2月期 9,749百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
4年2月期	—	0.00	—		
4年2月期(予想)				26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

令和4年2月期(予想)の配当性向は、174.9%となります。

## 3. 令和4年2月期の業績予想(令和3年3月1日～令和4年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△4.9	250	△74.2	280	△72.0	130	△75.1	14.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年2月期3Q	8,747,642 株	3年2月期	8,747,642 株
② 期末自己株式数	4年2月期3Q	372 株	3年2月期	372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4年2月期3Q	8,747,270 株	3年2月期3Q	8,747,270 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成されたものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。
- 2.当社は、「財務諸表等規則」に従い財務諸表を作成しております。
- 3.当社は、令和元年8月30日に株式会社LANTERN ROOMSの株式を100%取得したことに伴い、同社を子会社化しておりますが、資産、売上高、損益、利益剰余金に及ぼす影響が僅少であり、現時点では重要性が乏しいため、非連結子会社としております。なお、令和3年12月1日を効力発生日として、当社を存続会社、同社を消滅会社とする吸収合併を実施いたしました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が属するエンターテインメント業界では、国内外のスマートフォンゲーム市場の成長・国内家庭用ゲーム市場のゆるやかな拡大傾向を背景に、ゲームコンテンツ市場と関連するキャラクター市場が世界的にも長期的に高成長が続くと見込まれておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が停滞し、足元では、持ち直しの動きも見られますものの、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下における、当第3四半期累計期間（自 令和3年3月1日 至 令和3年11月30日）の経営成績の概況は、以下のとおりであります。

「うたの☆プリンスさまっ♪」におきましては、8月に全編3Dによるライブ公演「うたの☆プリンスさまっ♪ SHINING STAR STAGE -LOVE in DREAM-」（主催：うたの☆プリンスさまっ♪ SHINING STAR STAGE制作委員会）を東京ガーデンシアターにて開催。ユニット曲、ソロ曲、スペシャルユニット曲などアンコールを含め全19曲を披露いたしました。大変好評な公演となり、令和4年3月のアンコール公演も予定しております。9月には「京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）2021」に出展。10月より、エイプリルフールにて発表したコスメブランド「Metamorphose」のイベントを株式会社 丸井グループ全国9カ所にて開催。同月、株式会社ハピネットと共同で「ブロッコリーくじ うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live Love My Idol! アナザーショットVer.」を全国のファミリーマートにて展開し、翌11月にファミリーマート限定のマルチケースが貰えるキャンペーンを展開いたしました。同じく11月に、令和2年4月より延期していたライブ公演「うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVELIVE 7th STAGE」を埼玉のメットライフドームにて開催（主催：UTA☆PRI-MOVIE PROJECT）、入場規制もある中、ライブ・ビューイング、初のオンライン配信も実施いたしました。また、令和4年に公開予定の「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEスターリッシュツアーズ」と「日清のカップメシ」とのコラボレーション企画の展開も始まりました。これらの結果、当第3四半期累計期間の関連グッズの売上高・売上総利益は、前年並みに回復するに至りました。

関連CDは、10月にアイドルグループHE★VENSの2ndミニアルバム「One Day」を発表、上半期の好調もあり、当第3四半期累計期間においても前年を上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

関連ゲームアプリ「うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live」の売上高・売上総利益につきましては、前年を下回る水準で推移しております。

3月にNintendo Switch™用ゲームソフトを発売した「ジャックジャンヌ」につきましては、音楽CD2作品を発売（1作品は発売元：株式会社 SCHOLE）、うち当社発売の「ジャックジャンヌ VOCAL COLLECTION」は、オリコン週間アルバムランキング6位にランクインすることが出来ました。同月、発売半年を祝う「ジャックジャンヌハーフアニバーサリー」企画を発表。アニメイト池袋本店にて「ジャックジャンヌ」ハーフアニバーサリーショップ等が開催されました。今後も更なるコンテンツの成長に向け、新たな施策を進めております。

他社ライセンスグッズにつきましては、他社主催のライブイベントが順調に開催され始めたことや、新作TVアニメ放映に併せたグッズが好評であったこと等により、前年を大幅に上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

トレーディングカードゲーム「Z/X -Zillions of enemy X-（ゼクス ジリオonz オブ エネミー エックス）」は、10月に発売した「極点超越編 無限くアンリミテッドブースト」にて商品構成の見直しがユーザーの高評価につながり販売好調であったことから、第3四半期では売上・売上総利益ともに前年を上回りました。復調基調の傾向は継続しておりますが、上半期からの当第3四半期累計期間の売上高・売上総利益では前年を僅かに下回る結果となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、6月に開催した10周年記念イベント運営費や新作ゲーム発売に伴う販促費が上半期において増加したことから、当第3四半期累計期間では1,269百万円（前年同期比27.3%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,724百万円（前年同期比7.6%増）となりましたが、営業利益は、133百万円（同84.0%減）、経常利益は154百万円（同81.9%減）となりました。四半期純利益につきましては、

第2四半期に一部着手していたゲームの開発中止を決定し、特別損失59百万円を計上した結果、59百万円(同89.9%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は7,745百万円で、前事業年度末に比べ508百万円減少しております。主な内容は、商品及び製品の増加94百万円などの増加要因に対し、現金及び預金の減少157百万円、売掛金の減少273百万円、仕掛品の減少24百万円、映像コンテンツの減少21百万円、その他の減少125百万円などの減少要因であります。

### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は2,968百万円で、前事業年度末に比べ244百万円増加しております。主な内容は、無形固定資産の増加303百万円などの増加要因に対し、有形固定資産の減少45百万円、投資その他の資産の減少13百万円であります。

### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,010百万円で、前事業年度末に比べ122百万円減少しております。主な内容は、返品調整引当金の増加4百万円、賞与引当金の増加26百万円、その他の増加41百万円などの増加要因に対し、買掛金の減少27百万円、未払法人税等の減少168百万円などの減少要因であります。

### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は122百万円で、前事業年度末に比べ27百万円増加しております。主な内容は、役員退職慰労引当金の増加28百万円であります。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は9,580百万円で、前事業年度末に比べ168百万円減少しております。これは、四半期純利益59百万円が計上された一方で、剰余金の配当227百万円が行われたことが主な要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年2月期通期業績予想につきましては、令和3年10月15日付公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しておりますとおりです。

配当予定につきましては、変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年2月28日)	当第3四半期会計期間 (令和3年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,621,667	6,464,429
売掛金	643,426	369,848
商品及び製品	302,297	396,943
仕掛品	367,801	343,619
原材料及び貯蔵品	4,196	2,083
映像コンテンツ	21,280	0
その他	295,862	170,154
貸倒引当金	△2,629	△1,469
流動資産合計	8,253,902	7,745,609
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,220,963	1,220,963
減価償却累計額	△308,403	△342,033
建物(純額)	912,559	878,929
土地	907,414	907,414
その他	176,591	186,021
減価償却累計額	△121,126	△142,449
その他(純額)	55,465	43,571
有形固定資産合計	1,875,439	1,829,915
無形固定資産	448,323	751,899
投資その他の資産		
その他	401,703	388,529
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	399,703	386,529
固定資産合計	2,723,467	2,968,345
資産合計	10,977,369	10,713,954
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	294,275	266,905
未払法人税等	168,165	—
返品調整引当金	82,182	86,858
賞与引当金	74,274	100,931
その他	514,047	555,764
流動負債合計	1,132,946	1,010,459
固定負債		
退職給付引当金	37,527	36,918
役員退職慰労引当金	8,666	37,489
その他	49,006	48,095
固定負債合計	95,199	122,503
負債合計	1,228,146	1,132,963

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年2月28日)	当第3四半期会計期間 (令和3年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,361,275	2,361,275
資本剰余金	2,066,627	2,066,627
利益剰余金	5,319,043	5,151,377
自己株式	△781	△781
株主資本合計	9,746,164	9,578,498
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,058	2,492
評価・換算差額等合計	3,058	2,492
純資産合計	9,749,222	9,580,991
負債純資産合計	10,977,369	10,713,954

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年11月30日)
売上高	4,389,530	4,724,675
売上原価	2,559,360	3,321,716
売上総利益	1,830,170	1,402,958
販売費及び一般管理費	997,660	1,269,588
営業利益	832,509	133,370
営業外収益		
受取利息及び配当金	742	1,557
不動産賃貸料	56,492	52,257
その他	2,426	2,119
営業外収益合計	59,661	55,934
営業外費用		
支払利息	107	84
不動産賃貸費用	36,231	34,511
その他	—	50
営業外費用合計	36,339	34,647
経常利益	855,832	154,657
特別損失		
ソフトウェア開発中止損	—	59,460
特別損失合計	—	59,460
税引前四半期純利益	855,832	95,197
法人税等	265,206	35,433
四半期純利益	590,625	59,763



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社はエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。